

モバイル接続料の検証に関する追加質問 KDDI 回答

令和4年6月9日

KDDI 株式会社

接続料の算定等に関する研究会（第58回）を踏まえたご質問について、以下のとおり回答いたします。※赤枠は構成員限り

【辻座長】

1. 需要について

(KDDI 回答)

(2) 接続料算定における合理性の観点から、自社のネットワーク設備の冗長性を踏まえ、どのような考え方で需要を設定しているのか、できるだけ定量的な説明をお願いします。

(KDDI 回答)

- ・ 当社の需要は、実トラヒックに対し平時におけるトラヒックの予測やその不確実性、設備増設に係るリードタイム、設備増設遅延のリスク等を踏まえて設定しております

以上

モバイル接続料の検証に関する追加質問【追加分】 KDDI 回答

令和4年6月9日

KDDI 株式会社

接続料の算定等に関する研究会（第58回）を踏まえたご質問について、以下のとおり回答いたします。※赤枠は構成員限り

【佐藤構成員】

1. 原価について

- (1) 原価の各費目について、なぜ2020年度適用接続料の予測値と実績値に差分（増加・減少・横ばい）が生じたのか、その増減分と理由について御教示ください。
- (2) 原価の各費目について、なぜ2022年度適用接続料の予測値に差分（昨年届出時より増加・減少・横ばい）が生じたのか、その増減分と理由について御教示ください。

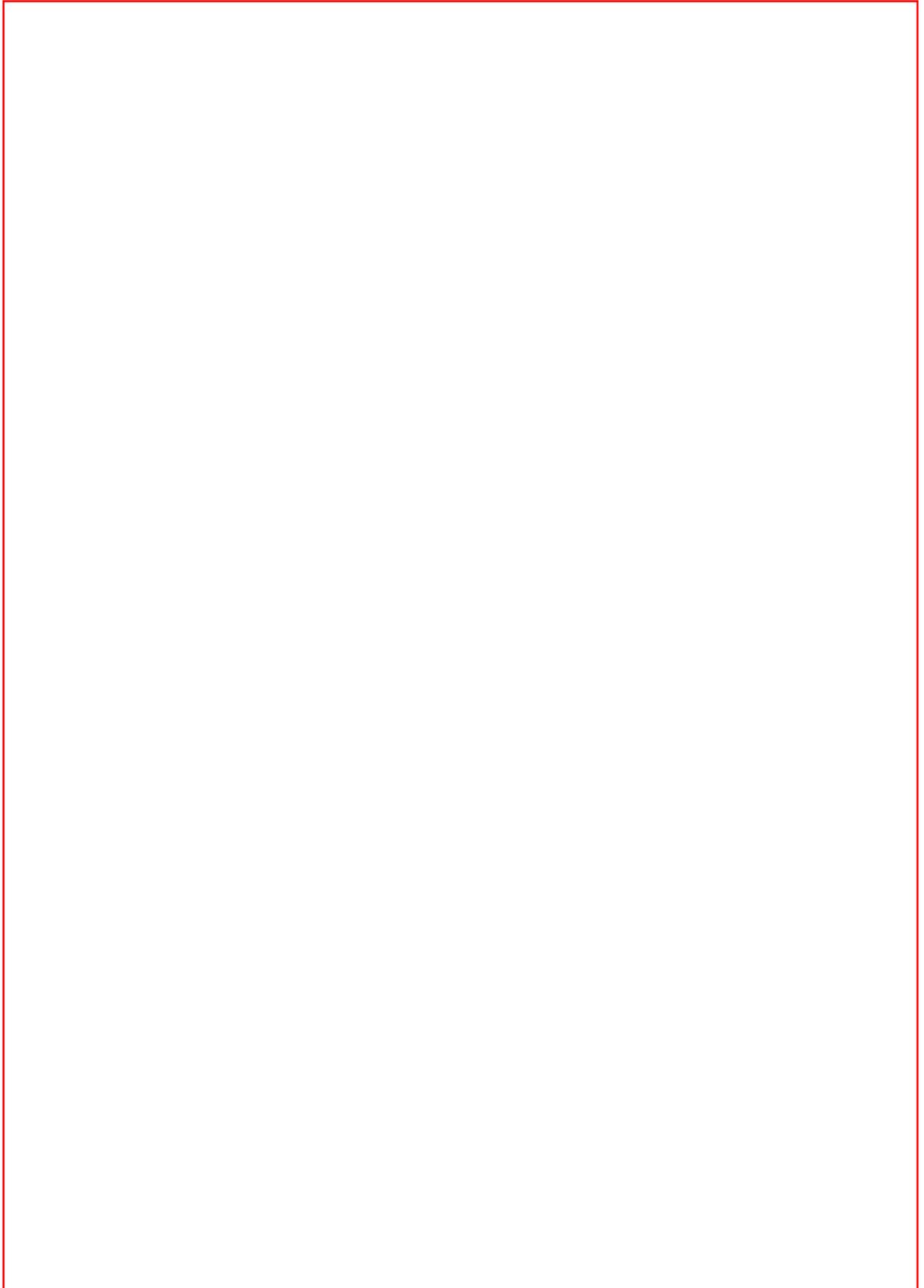
(KDDI 回答)

(1)について

.

(2)について







2. 需要について

- (1) 「接続料原価の対象となる設備の需要の測定箇所における通信容量の合計（貴社の需要+冗長分）」と「貴社の需要」それぞれの値を、直近数年間分（例えば、2021年度を含む過去3年。可能な範囲で。）についてお示してください。
- (2) 総務省に届出された最繁忙トラヒックは、どの期間のどの数値を用いているのか。例えば、毎日の最繁忙トラヒックの年平均なのか、1年間の最繁忙トラヒックなのか、御教示ください。

(KDDI 回答)

(1) について



- ・ 「接続料原価の対象となる設備の需要の測定箇所における通信容量の合計（貴社の需要+冗長分）」に関して、現時点において提示できるものがございません。
- ・ この点、「接続料原価の対象となる設備の需要の測定箇所における通信容量の合計（貴社の需要+冗長分）」の考え方に関して、例えば、設備のスペック値、性能や信頼性を考慮した設備容量値、効率的な設備調達における余剰容量を加味した/しない値等が考えられることから、それらが需要との関係で適切な検証に資するものかどうかを整理が必要と考えます。そのうえで、データの有無や取得可否について確認が必要です。
- ・ 冗長分をどう確保するかということについては、各社の運用ポリシーによるものであり、何をもちって適切なのかは一概に判断できないものと考えます。また、モバイル市場では複数のMNO、多くのMVNOとの間において競争がなされている点、民間企業としてステークホルダーに対する責任を果たす必要がある点も踏まえ能率的な経営が求められており、MNO各社とも適切な設備投資や費用管理に努めているものと考えます。
- ・ このように、「接続料原価の対象となる設備の需要の測定箇所における通信容量の合計

（貴社の需要+冗長分）」をどのように捉えるべきかが不透明であることや、冗長の考え方について各社の運用ポリシーが異なることからある数値をもって単純比較することは必ずしも適切とは言えないと考えます。

- ・ 需要の検証にあたっては、引き続き実トラヒックと需要の割合を経年で検証することで算定の一貫性について確認できるものと考えます。今年度以降も、需要に占める実トラヒックの比率について報告いたします。

(2)について

以上